

日本ベアリング URL: www.nipponbearing.com

引き続き、土台を作り直し中 強みを生かす戦略と行動を徹底



福永暢彦副社長

日本ベアリング(山崎亨社長)が今後の主力製品に位置付けるのが、ベアリングとスライドウェイだ。特にスライドウェイのPRに力を入れる方針で、剛性や耐久性の高さなどの強みを顧客へ伝えていく。福永暢彦副社長は「ガイド事業とスピンドル事業から撤退したのも、スライドウェイにリソースを集中させるためだった。スライドウェイとベアリングに注力し、製品のラインアップや設計力、安定した供給力の総合点で世界一を目指す」と語る。

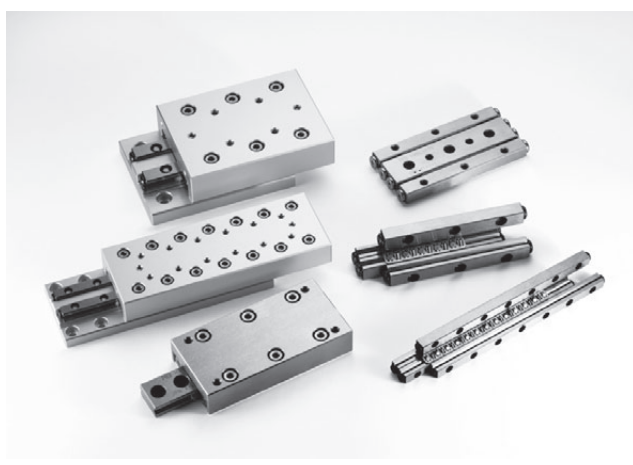
MECT2023でもスライドウェイ「HV形」を中心にアピールした。従来製品から構造を最適化

し、許容荷重などを高めた。「耐久性の向上に加え、搭載機種のコンパクト化にもつながる」と話す。またスライドウェイをはじめ自社製品の訴求のために、約1年かけて活用事例集を冊子にまとめた。今後は展示会などで配布して、製品の性能を発揮できる活用シーンを紹介する。

自動化ニーズの高まりに伴い、アクチュエーターのニーズも顕在化してきている。アクチュエーターを3つ組み合わせると、産業用ロボットの代替になるような3次元的な動きを実現できる。「簡単な動きなら十分に自動化で

き、ロボットに比べてコストを抑えられる。部品だけを販売するのではなく、生産現場での使い方も含めて提案していきたい」と言う。

同社は生産体制の見直しにも取り組んでいる。これまで製品の納期などで課題があったのに対し、福永副社長は構造的な改革が必要とし、「リードタイムの短縮のために、外部に委託していた一部の業務の内製化も検討している。製造業全体で景気が停滞しているが、わが社にとっては生産体制の見直しなどに注力できる良いタイミングでもある」と話す。



従来製品より耐久性が向上したスライドウェイ「HV形」

会社紹介

強みで顧客ニーズに対応する

あらゆる産業機械の自動化に必要な不可欠な直線運動製品を製造する。独自の設計と製造方法によるものづくりに取り組み、高い品質と強みの発揮にこだわりながら、顧客のニーズに応え続けている。国内生産で高品質を保ち、日々生産技術を磨く。1959年創業で、社員は約550人。

問い合わせ先

〒947-8503
新潟県小千谷市千谷甲2833
Tel. 0258-82-5711

